

本会議質疑

杉浦謙一

【議案第66号について】

問 農業振興拠点施設と道の駅の今後のスケジュールは

答 施設は2月末完成予定で工事を進めており、完成式典は4月4日、施設のオープンは翌5日を予定しています。

問 地域農業の振興とはどこの地域を指すのか

答 御前崎市全域の農業振興に寄与するものと考えております。

問 25年2月定例会では、高松地区活性化計画で施設整備をしており、高松地区の農産物が8

曾根正浩

【議案第69号について】

問 御前崎保健センターは災害時、救護所に指定されています。救護所との併設で方面隊が機能するのかが疑問です。どのように考えているのか

答 白羽公民館の移転は、平常時において閉館日の多い御前崎保健センターを有効活用するものです。しかし、救護所の開設が発令された時は救護所となります。現在の方面隊の拠点（教育会館2階）や運営方針に変更はありません。

割と発言し、議事録にもあるが

答 国にも理解をいただき、高松地区に特化

するのではなく、市内全域の農業生産者のために資するものだと考えて整備をしております。



工事中の道の駅

問 移転は一時的で、あくまで恒久的ではないの理解が良いのか

答 現状の各地区、地区公民館方式を前提とした場合には、恒久的ではないと認識しております。



御前崎保健センター

委員会質疑

総務経済委員会

【議案第56号について】

問 消費税率引き上げに伴うCATV利用料の値上げは、生活困窮者に負担をかけることになると思うが

答 国の消費税率引き上げに対応したものです。生活困窮者に対する応援は、市としては最大限におこなっていると考えております。

【議案第59号について】

問 公共施設とはどんなものがあるのか。また、主に維持管理に使う資金か

答 電源立地交付金で整備された施設以外で庁舎、消防小屋などを想定しています。施設全体を網羅できるように基金条例にしております。施設の老朽化を考慮し、維持補修に充てるための基金にも使えるようにしたいと考えております。

問 道路、橋梁などにかかる基金は充当できるのか

答 主に箱物の老朽化に充てますが、橋梁、道路にも充てることができ

問 今後、基金を毎年積み立てて行くのか

答 繰越金などで余剰が出れば基金に充当したいと考えております。

問 修繕計画はあるのか

答 公共施設の白書を作り、現状施設及びその利用率などを把握した中で、保全計画を施設ごとに作っていきたいと考えております。

【議案第60号について】

問 3ヶ年計画を補助金としてもらうのか

答 3ヶ年計画に基づき、今までの大規模地震対策等総合支援事業の要綱にあてはめて該当額が交付されます。

問 計画としてどのようなものがあるのか

答 同報無線の難聴地区の整備や自主防災組織育成事業、防災拠点の非常用電源整備事業、避難地、避難所の防災倉庫整備事業、落橋防止事業、備蓄食料、常備消防の防災資機材の整備、消防団の資機材整備などがあります。

問 寄附金を募り、基金に充てる計画は

答 現時点では考えておりません。

問 3年間で残額があれば県に返すことになり

答 ます。



工事中の農業振興拠点施設直販施設

【議案第66号について】

問 市外産の物を販売するの

答 直販施設では、市内の農業者が生産した野菜を出荷組合が組織して販売します。それ以外に、指定管理者が御前崎市では

生産されていない特産品などを仕入れて販売をすることができ

答 全員が参加するとは考えておりません。ミナクルでも約200名の出荷者がありましたので、それ以上の市内農業者に参加をもらいたいと思っております。また、出荷組合が出荷の調整を図って行きますので、市内農業者にとつて有益な施設になるように努めてまいりたいと思

問 出荷方法や価格の関係は

答 出荷方法は、出荷者が農産物を自分で並べます。売れそうな場所を一定の方が占有することのないよう、出荷組合の中で話し合いをしています。価格の関係は、生産者本人が農産物の値段を決めることができ

ます。適正価格になるように、出荷組合や指定管理者が値付けの指導を行っていきたくと考えて

おります。

問 指定管理者が建設を予定しているレストランの場所は

答 飲食施設は、道の駅情報施設とトイレの東側になります。

問 建設場所は市有地だが、借地料と固定資産税の関係は

答 御前崎市普通財産の貸付けに関する取扱要綱によると、営利目的の場合は、固定資産税評価額の4%が年間借地料になると思

います。財政課で協議中ですが、近隣の用地価格を調べて決定していくことになると思